

令和6年度第2回旭川方面富良野警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年9月19日（木）午後1時30分から午後2時40分までの間

2 開催場所

旭川方面富良野警察署2階大会議室

3 出席者

(1) 富良野警察署協議会委員6人（定員7人）

会 長	巽 俊 明
副 会 長	窪 田 敏 雄
委 員	加 藤 昌 代、最 上 麗 子
	大 槻 信 子、津 山 正 樹

(2) 富良野警察署6人

署 長	野 原 寿 永
副 署 長	村 田 和 也
警務課長	藤 瀬 和 宏
地域課長	長 崎 俊 之
刑事生活安全課長	檜 山 享 敬
交通課長	尾 谷 強

4 警察署長等挨拶

5 業務概況説明及び質問に対する回答

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) 令和6年8月末の刑法犯認知状況等 | （刑事生活安全課長） |
| (2) 令和6年8月末の交通事故発生状況等 | （交通課長） |
| (3) 令和6年8月末のヒグマの出没状況 | （地域課長） |

6 前回（6月20日）の要望・意見と警察の対応等

(1) 犯罪被害者等支援特化条例について

協議会委員から「富良野地区で条例を制定させるためには、各自治体関係者に被害者支援条例の必要性について説明してはどうか。」旨の意見・要望がなされた。

⇒ 各自治体関係者に対し、被害者支援条例の必要性について継続した働き掛けを行った旨を説明した。

(2) レンタカー利用の外国人観光客に対する交通事故防止対策について

協議会委員から「レンタカー利用の外国人観光客に対する交通事故防止に向けて交通ルールの徹底を図れないか。」旨の意見・要望がなされた。

⇒ レンタカー会社に配布していた日本の交通ルール等が記載された外国語版チラシについて、令和6年7月22日に飲食店や観光場所に配布したほか、通年を通して外国人ドライバーを取り扱った際は、同チラシを活用して安全運転の呼びかけを行う旨を説明した。

7 その他の要望・意見と警察の説明

- (1) 「全道の交通事故死者数が新聞に掲載されなくなった。交通安全の意識を高める

ためにも、交通事故死者数等を知る機会を増やすことはできないだろうか。」旨の意見・要望がなされた。

⇒ インターネット等の普及により様々な媒体で報道されているが、管内住民の交通安全意識が高まるよう各種媒体を活用し、交通安全意識の向上を図る旨伝えた。

(2) 「特殊詐欺は色々対策されているがなかなか減らない、専門家等を交えて気楽に話を聞ける場を設けることはできないだろうか。」旨の意見・要望がなされた。

⇒ 管内住民の詐欺被害防止に向けて、関係機関と協力していくことを伝えた。

また、詐欺相談などを行える警察相談専用電話「#9110」についても広報する旨伝えた。

(3) 「国道沿いの規制標識が変色して見づらい標識が多くみられるため、早急に取り替えて欲しい。」旨の意見・要望がなされた。

⇒ 地域の実情を踏まえ、優先順位を決めて順番に取り替え作業を行っている。

要望の規制標識等の状態確認を行う旨を伝えた。

8 諮問テーマ

山岳遭難の現状と警察活動

9 警察署協議会会長による総括

今回の諮問テーマで取りあげていただいた「山岳遭難の現状と警察活動」について、山岳救助隊員が実際に現場で活用されているリュックや装備品を展示してもらい、また実際にリュックを背負わせていただき、想像以上に装備資機材の重量が重たいことが分かった。

山を登る際は、きちんとルールを守ることの大切さと、万が一遭難してしまっても私たちを救ってくれる頼もしい救助隊員の存在を知ることができ、とても安心して山登りに行けると感じた。

10 次回開催時期

令和6年12月中旬に開催予定

11 次回協議テーマ

交通事故の発生状況と警察活動

以 上